

一般質問通告書

質問順 ①

質問事項	質問要旨
18番 佐々木 雅彦	
1. 祝園駅周辺の交通問題	<p>過日の建設産業委員会での説明でも、具体像が見えてこない。前回提案したことの実施時期などを含め認識と方針を伺う。</p> <p>① 一般車の乗降場所の新設時期はいつなのか。信号機設置時期も同時となるのか。それによる駐輪場スペースの確保策はどうか。工事中の対策も含め問う。</p> <p>② スクールバス・企業送迎車を東口に移すとのことだが、時期はいつなのか。試行の必要性はないのか。東口利用者・住民への説明や意見聴取はしないのか。</p> <p>③ 西口広場の進入規制は、時間限定にすべきだ。この間の説明では、警察の都合としか聞こえない。また、法的な根拠もないとのこと。それならば、本町のまちづくりの意向を優先すべきだ。朝夕ラッシュ時以外は、にぎわいを確保できない法的根拠を再度問う。</p> <p>④ 駅周辺の交通混雑が主要因としている今回の措置とのこと。であるならば、駅前広場以外の路上駐停車を認めることは目的に逆行する。今でも、ガーデンシティ南側での駐停車が駅前交差点の円滑な交通を阻害している。何もしない考えなのか。</p> <p>⑤ 連絡通路と周辺の歩行者通路の左側通行は、いつから実施するのか。習慣化することが大切である。その観点から「同時実施」は、かえって混乱を生じさせる。全体スケジュールの中での計画を問う。</p> <p>⑥ 影響を直接的に受ける祝園西一丁目への説明・意見聴取は済んだのか。主な住民意見と対策を問う。</p> <p>⑦ 以前から提案している JR 踏切のムダな遮断時間の短縮は実現するのか。これを放置しては、駅周辺交通円滑化の妨げとなる。</p> <p>⑧ 住民への説明と意見聴取は、6月・9月議会で、重ねて拒否された。しかも、私は「賛否を問え」とは一言もないのに「賛否は問わない」という理由での拒否答弁だった。少なくとも影響を受ける範囲の住民を対象とした説明会・意見聴取会をしないということが、本町のまちづくり・町政運営の基本姿勢として理解しているのか問う。</p>

<p>2. 安心・安全のま ち、サイン計画</p>	<p>この間、何度か質問・提案してきた。次の諸点を問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① JR 祝園駅の駅員不在時間が、1日のうち約7時間ある。ホームからの落下・地理不案内の交流人口者対応など不十分となる。また、祝園駅に留置線が設置されて久しいが、営業運転がされていない。改善の見通しを問う。 ② 町内交番の表示が少なく、特に夜間はほぼ認識できない。また、相談に行くとしても祝園交番には安全に車両を止められるスペースもない。対応を問う。 ③ 交番前・消防署前の道路が、停止禁止部分となっていない。交通渋滞発生時の初期出動の遅れにつながりかねない。また、消防署表示も視認性が低い。理由と対策を問う。 ④ 通学路の安全対策は急務である。この間の対策で、通学路総延長のうち、歩道設置や車道との間の柵設置の進捗状況を問う。 ⑤ 「やさしいまちづくり整備指針」にある歩道幅や傾斜角を満たしていない延長はどの程度か(データがあれば、一定過去の数値との比較を含む)。この間、どの程度改善をされたのか、またいつ頃全面解消をめざすのか問う。 ⑥ 祝園駅前広場での喫煙対策の到達点と課題を問う。
<p>3. 情報公開と説明 責任</p>	<p>何度かとりあげてきた。しかし、この間の状況をリサーチすると、例えば、審議会の開催告知がない・あったとしても結果掲載がない・結果掲載が数か月後になっているなどを散見する。こうなると、担当課・担当者任せではなく、外部発注も含め組織的な点検を必要とする。認識と方針を問う。</p>

質問事項	質問要旨
	6番 青木 敏
1. 祝園西一丁目の水害の実態と今後の対策を問う	<p>(1) 祝園西一丁目の水害の実態把握は。 以下は、住民の方向人かに近年の水害の状況を書き出していたいたものである。</p> <p>平成24年8月14日 車20台水没 床上・床下浸水 各1軒</p> <p>9月 夜AM0:30頃 40~50cm浸水 平成25年7月~9月 夜 40~50cm浸水 夜間車移動 平成26年7月~9月 車移動 平成27年7月 PM5:00頃 50cm程度浸水 車1台修理 車移動 平成28年7月~9月 夜AM1:00頃 40~50cm浸水 車移動</p> <p>*電話した際、何度目かでやっと開けてくれた 平成29年9月12日 朝AM6:00頃 50cm程度浸水 車移動</p> <p>*平成24年以前から時々浸水していたが、車を移動させる程ではなかった。</p> <p>① 町は、記載の日時、状況を把握、認識しているのか。 ② 平成24年頃までは少なく、車の被害などもなかったようであるが、その後、繰り返し起こる原因は何と考えているのか。 ③ 住民が安心、安全に暮らせるようにするのが、行政の務めと考える。駅前開発に伴い、すべてではないが、一部は町からの換地でもある。住民は固定資産税も都市計画税も支払っている。</p> <p>(2) 平成24年8月14日の集中豪雨による水害の原因は。 (1)を考えていて、8月14日の集中豪雨の原因の検証とその後の対策がされていれば、毎年繰り返すようなことはないのではと考える。当時の議事録にも検証をして、総括をするとある。検証して、何が原因と捉え、どう対策を立てたのか。以下が原因ではとの声もある。</p> <p>① 排水溝に前日に刈った草などが流れてきて詰まった。 ② 下水道管が細い、排水路がまっすぐ東へ抜けるところが、90度に曲がったところが4カ所ある。 ③ JR軌道下の水路の祝園地区2箇所は大雨の水の処理ができない。農業用水路であるが排水も併用している。 ④ ゲートが開いていなかった、もしくは開けるのが遅かった。</p>

	<p>⑤ ポンプの能力を超えていた。 住民と町が共通の現状認識を持ち、早急な対策を望む。</p>
<p>2. 交通を考える</p>	<p>(1) 町づくりのための交通網の整備</p> <p>① 光台から生駒へ抜ける大通り西線の延伸を。 議会でも何度か議論や提案があり、都市計画マスタープランや第5次総合計画などでも議論されている。大通り西線の延伸は今後の本町の町づくりに必要と考える。状況も変わってきているので、再度の府、県、生駒市などとの協議は。</p> <p>② 植田35号線から農免道路へ抜ける陸橋を。 本町の町づくりを考えると東西のより便利な行き来ができる道路が必要と考える。①と合わせると山手幹線に匹敵する道路網ができる。再度の計画立案を願う。</p> <p>(2) 京奈和道路は、(奈良市から城陽まで)なぜ有料なのか。 8月19日に橿原から五條までが開通して、郡山から和歌山まで行くことができ、距離も長く途中4車線もあり快適に利用できるのに、ほとんどの区間は無料である。本町の利用者の多い区間がなぜ有料なのか。もともとが、国道24号線のバイパス道路扱いで建設が始められている。管轄が違うことは承知しているが、住民から見ると不公平である。早期の無料化の要望を願う。</p>

質問事項	質問要旨
10番 山下 芳一	
<p>1. 今後、小・中学校の空き教室対策は</p>	<p>精華町の子ども(0～15歳)の人数は減少傾向にある。特に、精華西中学校区では、これからの児童・生徒数減が著しいと思われる。</p> <p>全国的には、かつてのマンモス校が小規模校・複式学級・統廃合となっている例もある。</p> <p>そのような中で、空き教室を有効に活用して、子どもは少なくなっていくが学校の活気が消えないように、学校と地域のコミュニケーションが高まるよう取組・活用をして頑張っているところもある。逆に、何も手を打たず、空き教室を単に市町の倉庫代わりにして、学校の衰退に拍車をかけるようなところもある。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>① 5年後、各中学校ブロック(小・中学校合わせて)普通教室の空き教室数は、いくつですか。</p> <p>また、今の1～5歳児の幼児数から推測して10年後の空き教室は、いくつだと予想しますか。</p> <p>共に、私学へ行く予想人数を差し引いて回答願います。</p> <p>② 現段階で、積極的な空き教室の具体的な活用対策を考えていますか。今、具体的な対応策がないようなら、今後、どのような方向で教育委員会委は対応されますか。</p>
<p>2. 学校教材備品の納品状況等について</p>	<p>9月議会で質問した事柄の進捗状況を聞きます。</p> <p>① 年度の教材備品の納品状況は、11月末で概ねどれくらいですか。</p> <p>② 理科教育設備整備費等補助金交付を受けるための、進捗状況はどのようなになっていますか。</p>

質問事項	質問要旨
11番 安宅 吉昭	
1. 狛田駅東土地区画整備事業の完了について	<p>狛田地域まちづくり基本構想は、概ね20年後のまちの姿(将来像)を見据えて地域の代表である委員の方々により策定され、町はまちづくりの指針とされたものである。第一段階の整備として「駅東地区」は狛田駅東特定土地区画整備事業が6年の遅れはあったが、来年3月で事業完了を迎える。この間、町は住民への適宜適切な情報発信をするという説明責任があるが、果たされているとはいえない。</p> <p>① 町は、平成18年の事業開始から今日まで、町民に、狛田地域住民にどのように情報発信されてきたか。</p> <p>② 町は、町民への情報発信として、狛田駅の改良・アクセス道路整備・都市公園の整備・住所表示変更など、来年3月までにいつどのような内容で行おうとするのか。</p> <p>③ 町は、第二段階となる次の「駅中・駅西地区」の整備については、現時点でどのような計画を持ち合わせるのか。</p>
2. ぐるりんバスの運行について	<p>ぐるりんバスは「住民の足」として運行されている。議会も今年の事務事業評価の対象とし、運行ルートの見直しなど指摘したところである。特に高齢者に利用されることが多いゆえ、安全性と利便性の視点から改善されなければならない課題も多いと考える。</p> <p>① 旧村地域のバス停は当初から設計されたものでなく困難な面があるが、安全といえるバス停の設置基準はあるのか。</p> <p>② 具体的には、僧坊、滝ノ鼻のバス停の安全確保は検討されているのか。</p> <p>③ 中久保田地区は高齢化が進んでいる地域でもあり「ぐるりんバス」運行の要望が出されているが、いまだ実現されていない。現在はどのような検討がされているのか。</p>

質問事項	質問要旨
9番 松田 孝枝	
1. 新しい非核・平和都市宣言を	<p>精華町非核・平和都市宣言が施行されたのは1987（昭和62）年である。その宣言文の一つに核兵器の廃絶と軍縮を求めるとあります。</p> <p>本町では、毎年平和祭典を実施し平和首長会議に参画、北朝鮮などの核実験などに町長・議長が抗議声明を出すなど、宣言文に呼応してふさわしい取り組みがされてきました。</p> <p>また、夏の非核平和を願う「国民平和大行進」の際には、連帯のあいさつを送られるなど非核・平和を願う者のひとりとして、誇りに思うところです。</p> <p>しかし、2011年3月11日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故を経験し、ひとたび原発事故が起これば、大量の放射性物質の拡散によって甚大な被害をもたらされることを思い知らされました。</p> <p>核は軍事利用であれ「平和利用」であれ、地球環境を破壊し、多くの人々の暮らしを奪うものです。</p> <p>今、核兵器廃絶や非核3原則の遵守に加えて、脱原発や自然や環境にやさしい再生可能エネルギーの推進を求める「新しい非核自治体宣言」を発する自治体が増えつつあります。</p> <p>近隣市町に先駆けて非核・平和都市宣言をした町として、従来の宣言を守りつつ、核兵器廃絶と脱原発を一つに結び合わせた「新しい非核・平和都市宣言」を発することを提案します。本町の見解を伺います。</p> <p>あわせて平和のとりくみの一環として取り組まれている本町の本年度平和祭典の総括と今後について問います。</p>
2. 生涯学習	<p>「生涯にわたっての学習活動に充実を図るため、文化活動やスポーツ活動を通じて住民の自主的な活動を促進する必要があります」（第5次総合計画3章未来をひらく文化と環境のまちづくり、これから10年の課題）とあります。スポーツ活動に関わっては、むくのきセンターが中心的な拠点として機能しています。一方、文化活動については、むくのきセンターの立地条件や交通利便性に課題があり、活動場所の確保に苦勞をしているとの声が出ています。将来的には生涯学習センター、或いは文化センターなどをつくり、生涯学習の拠点づくりをすることが望まれます。基本的な考え方を問います。</p> <p>当面の問題として、今、活動場所確保に苦勞をしている「日本語</p>

	教室」などの課題解決の方策を問います。
3. 教育の充実	小中学校図書室と図書教育の充実について問います。 ① 蔵書数・開室時間・司書配置数と図書利用者数の現況と課題 ② 図書司書を各校に一名配置し、地域や読み聞かせボランティアとの連携も図りながら図書教育の充実を求める。

質問事項	質問要旨
17番 内海 富久子	
1. 地域包括ケアシステムの今後の構築について	<p>(1) 介護保険における保険者機能の強化について 今年6月に国の介護保険法改正で、高齢者の自立支援と重度化防止を図るため市町村の保険者機能の強化が求められている、今後、各自治体の自立を目標としたケアマネジメントの取り組みが重要である。制度を持続可能なものにするために、本町の自立を目標にしたケアマネジメントの取り組みを伺う。</p> <p>(2) 高齢者が健康で生き生きと生活していただけるように、社会参加や生きがいがづくり、地域での健康づくりや介護予防、身近なところでの相談やケアプラン作成等のサービスが受けられるなど、また、様々な地域住民の課題を解決するための場づくり、情報発信や双方向のコミュニケーションやインフォーマルな支援を構築していくに当たり、地域包括ケアシステムの重要性はますます大きくなっていく、より地域に密着した、きめ細かな支援が可能となる体制整備が求められます。</p> <p>① 地域包括支援センターの機能強化と中学校区ごとの設置を。 ② 若年層も含めた「認知症カフェ」の更なる拡充を。</p>
2. 救急医療情報キット(命のバトン)配布事業の充実	<p>救急医療情報キット(命のバトン)配布事業の充実。 平成24年11月から一人暮らし高齢者の安心安全確保に地域の声かけ活動、訪問活動など地域福祉の充実を目的に実施されたが取り組み状況を伺う。</p>
3. 保育士宿舎借り上げ支援事業	<p>待機児童対策に、保育士の就業継続や離職防止を図り、保育士が働きやすい環境を整備することを目的としている、本町は本年4月に導入しているが、事業内容と利用状況は。</p>

質問事項	質問要旨
7番 山本 清悟	
1. 台風21号の木津川沿いの農業地域の災害対策について	<p>本年10月22日から23日にかけての台風21号による降雨のため、全国各地で被害が発生し、精華町内においても土砂崩れなどの災害が発生した。</p> <p>木津川沿いの優良農地においては、田畑が浸水する被害が発生し被害をもたらした。地域的には、内水の排水機能の問題点が引き続き大きな課題となっている。</p> <p>そこで今回は特に、菅井古里地区及び付近の水田が冠水した地域の今後の水害対策について次の項目について問う。</p> <p>① 木津川への排水経路に問題点があると考えますが、町はどう捉えているのか問う。</p> <p>② 問題があると思われる、排水路及び樋門の課題の解消にどう取り組んで行くのか。</p> <p>③ 上記地域に、木津川市吐師地域の降雨が流入しているが、木津川市との間で、本町及び木津川市に関係する、内水排水処理で樋門の取り扱いなどの連携はどのようにしているのか問う。</p>
2. 祝園駅、西側駅前ロータリーについて	<p>連節バス導入に伴う問題点について次の3点を問う。</p> <p>① 現在計画している身体障害者乗降スペースは、車両の進出入に利便性を欠くが、障害者の生活環境の整備、障害者の自立と社会参加を促進し、誰もが暮らしやすい生活環境の整備を進めるため、公共交通機関のバリアフリー化を推進するとともに、障害者等にやさしいまちづくりを推進する視点から外れていると考えるが、利用の利便性を最優先すべきではないのか、この点をどう考えているのか。</p> <p>② 一般車両などをロータリーから終日進入禁止とし、通勤時間帯のみ運行する連節バス優先とする事を、通勤に利用する主な企業と調整しているのか、また、企業はこの事柄を承知しているのか。</p> <p>③ 導入後の付近の車の流れの変化をどう分析しているのか。生活道路や通学路への迂回進入などの問題が発生すると思うがどう対応するのか。</p>
3. 一般質問のその後について	<p>① 植田・菅井地区土地区画整理事業の組合設立などの状況と、山手幹線南進事業の府との最近の協議は。</p> <p>② 南稻地域の河原谷の工事残土搬入に関して、府に対して町としての具申した内容とその課題と対策は。</p>

	③ 下粕ポンプ場のポンプ増設について、府との協議は積極的に進めているのか。増設の見通しは。
--	---

質問事項	質問要旨
8番 柚木 弘子	
1. 農福連携事業について	<p>京都府は農福連携事業によって、高齢化によって担い手を失いつつある農業と、就業先と収入確保に困難を抱える障害者とをマッチングして課題を解決する取り組みとして、福祉事務所への支援を本格化している。5月には「きょうと農福連携センター」をオープンして、農福連携を軸として地域共生社会をめざし、地域の多種多世代の人々が交流し、互いを支え合う共生社会の実現を目指している。</p> <p>農福連携において生産、販売、加工、レストランなど、どの分野からでもできるところから一歩踏み出し、農民や障害者さまざまな住民が集い仕事をし楽しめる、ノーマライゼーションに向かう社会を目指したい。</p> <p>すでに山城地域では取り組みが進んでおり、広がりつつある。京田辺市では聴覚言語障害者の福祉協会の事業所で、宇治茶、えび芋などを生産し、大福餅や、クッキー、えび芋コロッセなど製造して販売したり、コミュニティカフェを開いて地域の人に開放している。三山木にある事業所では、井手町や木津川市内にも休耕田を活用して無農薬野菜を作っている。</p> <p>9月会議において私は本町での農福連携について質問したが「注目すべきとりくみだ。連携を研究する」との答弁があった。どのようにすれば本町でこの事業にとりくめるか、「農業生産できる土地」「農業技術指導者の協力」「就農者の育成」「町民への広報」「農産物販売」その他、検討の進捗を問う。</p>
2. 学校トイレの美化と改善	<p>教育環境の整備・美化の点において、老朽化した学校で使いづらいところが目立っている。しかし、建て替え、新築がすぐには望めないことは理解しているので、公共施設の長寿命化を待つものである。長寿命化計画は32年度作成予定で、大規模改修は長寿命化対策として実施すると聞いている。そして、老朽化により緊急を要する施設改修については、部分的改修で対応するとされている。</p> <p>部分改善要求としてもやはり洋式トイレを増やして快適に使えるものにすることが急がれる。昨年12月会議において、業者の清掃導入による美化と臭気対策を求めたところ、今年度、業者清掃が取り入れられ評価しているものであるが、その効果は如何であったらうか。また、次なるトイレの改善計画について問う。</p>

質問事項	質問要旨
16番 今方 晴美	
1. 利用しやすい期日前投票制度へと主権者教育の充実	<p>貴重な1票を誰もが気持ちよく投じられるよう、さらなる投票機会の創出や利便性を高めていただきたい。</p> <p>先の衆院選では期日前投票の利用者数が全国で約2138万人、本町でも6390人に上り、過去最多を大幅に更新しました。台風21号の襲来で投票日当日の悪天候が予想された影響が大きいですが、期日前に投票した人が全有権者の2割を超えたことは、制度の定着を印象付け、その背景には、低下傾向にある投票率を少しでも高めようと工夫を凝らしている各自治体の取り組みもあると考えます。</p> <p>利用が増えるほど新たな改善点も見つかри、住民からさまざまな要望をお聞きしています。</p> <p>本町においても、投票率向上のため、利用しやすい期日前投票制度へ工夫を重ねていくべきと考え、次の点を伺います。</p> <p>① 期日前投票に必要な宣誓書を、投票所入場券の裏面に印刷し、一層の簡素化が図れないか。</p> <p>② ライフスタイルや就業形態の多様化で、日曜日に投票するのが難しい有権者が増えています。期日前投票時間の弾力的設定ができないか。</p> <p>③ 平成28年3月会議の会派代表質問、平成28年6月会議の一般質問で、18歳選挙権が実現し、主権者教育の充実として、中学生議会の開催を求めましたが、その後の進捗状況を伺います。</p>
2. 特定健診の受診率向上策として、「健康年齢」の活用	<p>国保データベースシステムの平成28年度市区町村別データによると、本町における特定健診受診率は、38.8%であり、府の35.6%と比較すれば高いですが、京都市を除く25市町村と比較すれば、9番目に低い状況であり、第2期町健康増進計画に示す平成34年度目標値65%の達成に向け、受診率のさらなる向上が大きな課題であります。</p> <p>また、本町における生活習慣病の保有率は、39.3%で、府の35.6%と比較すると高く、今後さらに多くの住民の皆様へ、特定健診を受診してもらい特定保健指導へつなげ生活習慣病の保有率改善に向け取り組まなければならない状況であります。</p> <p>こうした中、静岡市では、受診率向上策として、特定健診の受診結果から、受診者の身体が何歳相当なのかを統計的に判定した「健康年齢」を算出し、通知をする「健康度見える化事業」を開始しました。本町においても、さらに健康への関心と改善意欲を喚起する積極的な取り組みが必要であることから、次の点を伺います。</p>

	<p>① 特定健診の受診率向上への取り組み状況と、特定保健指導の実施率向上への取り組み状況、それぞれの成果を伺います。</p> <p>② 特定健診の受診率向上策として、「健康年齢」の活用について見解を伺います。</p>
--	---

質問事項	質問要旨
	15番 三原 和久
1. 集会所の長寿命化について	町民や自治会のコミュニティ活動拠点や様々な使用方法で活用され、又災害時には一時避難所などに使用されている集会所は、町内各地域で設置されており、毎年老朽化の激しいところから町内一自治会一軒ずつ建て替えを行っていますが、その費用は高額で地元負担も大変なものです。自治会では、自治会員の加入率低下で会費も少なくなり運営自体も厳しいなかで、地域では必要である集会所を負担が多い建て替え計画ではなく、安価な長寿命化で長く使用してもらえる考えは。